

9/16(日)

●英語でお店屋さんを開こう 対象:4年生

- 5人～4人組で発表チームを6つ作る。
- 班で話し合い、やりたいお店を決める。
- 講師や班付きリーダーの助言を得ながら、チームで協力し、商品やお店の紹介看板を作成する。
- チームごとに前半、後半に分かれて買い物のリハーサルを行う。
- 食事の時間(昼休憩)を利用し、午後の発表会に参加する保護者に対して、講師が質問のやり方を説明する。(通貨「ササビー」を5枚配布する)
- 保護者も交えて前半、後半の合計2回のセッションを行う。
- たくさんお客が来てくれた店には表彰を行う。



助言を得ながら商品や看板作成



お店の説明



お店のリハーサル



保護者を交えてお店屋さん



買い物の際には英語を使う



学んだ英語の確認



それぞれのお店ごとに看板を作成

共通通貨



コイン1枚「1ササビー」



プログラムのポイント

- “What do you want?” の単元をベースに、お店屋さんで買い物をするという具体的な課題を設定した英語活動である。
- 買い物をする際には多くの会話を行うことが期待でき、コミュニケーションの目的や場面・状況などを意識して活動できた。
- 班の数より多いお店を用意し、自分達の希望する店を選ぶことで、意欲を高めることができた。

11/25(日)

●イングリッシュレストラン 対象:5年生

- 4班でそれぞれ、「Main」「Side」「Desert」「Drink」のコーナーを担当する。
- 各コーナーで扱う料理の英語名を確認する。
- 看板を作成し、各コーナーの発表練習を行う。
- チームごとに前半・後半に分かれてリハーサルを行う。
◎講師がコミュニケーションの仕方(良い例・悪い例)についてデモンストレーションを行う。
- 実際の昼食メニューを各コーナーに入れておき、昼食時にも英語をつかったやりとりを促進する。(カレー、スパゲティ、白玉、オレンジジュースなど)
- 保護者も交えて前半・後半で2回、レストランのセッションを行う。



講師によるデモンストレーション



食堂のトレーを使ってセッション



班付きリーダーによるアドバイス



セッションの様子



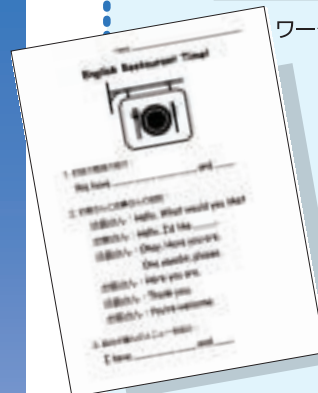
保護者も交えてセッション



自分たちで選んだメニュー



各コーナーの看板



ワークシート



shiratama



curry and rice



shiratama



curry and rice

プログラムのポイント

- “What would you like?” の単元をベースに、自分の食べたいものを英語で伝え、メニューを完成するという具体的な課題を設定した英語活動である。
- 当日の昼食メニューをその中に加えることで、宿泊体験活動の食事の場面とつなげるとともに、より活動にリアリティをもたせることができた。
- ビュッフェ形式で順番に食材を取ることで、コーナー間の会話量の偏りをなくすことができた。